

基礎基本定着状況調査の結果について

少しずつ秋を感じる時節になりましたが、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育に対して、ご理解ご協力いただき、誠に有難うございます。

さて、今年度の5年生児童を対象として実施されました「基礎基本定着状況調査（国語・算数）」の結果をお知らせいたします。

《国語》

（1）結果及び課題

- ① 広島市の平均通過率を5.5ポイント下回っている。
- ② 「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の4領域全て平均通過率に達していない。
- ③ 特に、「論理的に書く」ことを課す問題に課題がある。

（2）今後の取組

- ① 全ての教科の学習場面で「論理的に書く」活動を取り入れる。
- ② ドリルタイム、書写の時間等に視写（文章を写す）や言語技術（話したり、書いたりする順番を明確にする、昔話の書き始めだけを見て、その続きを書く、物を相手にわかりやすく説明するなど）を行う。

《算数》

（1）結果及び課題

- ① 広島市の平均通過率をやや下回った。（-1.2ポイント）
- ② 「数と計算」の領域では、広島市と同じ平均通過率であった。
- ③ 思考力・判断力・表現力を必要とする問題に課題がある。

（2）今後の取組

- ① 問題を解決していく場面で、図・表・絵で表したり、言葉で表したり、式で表したりする3つの活動を取り入れていく。3つの活動を関連づけることを意識した授業を行うことで問題解決できる力をつけていく。
- ② ドリルタイムに、活用力を高める問題を取り入れていく。

以上の結果から、両教科とも広島市の平均通過率を下回っていますが、国語科と比べて算数科においては広島市との開きがあまり大きくありません。このことは、本校で実施している複数指導体制（算数科）の成果が出ているのではないかと考えます。

本校ではここ数年、4年生時に、担任と指導工夫教員とが連携をとりながら、算数科の授業を行っています。児童一人一人の様子（どんな所でつまづいているのか、どんなことが理解できていないのか、どこまで理解できているのかなど）を見ながら、児童一人一人の理解が深まるような取組を行っています。できていない問題は繰り返し行ったり、個別

に指導をしたりしながら、学力の定着を図っています。

また、今年度の基礎基本学力定着状況調査における質問事項の中で、「算数の授業を楽しみにしています」「算数の授業では、少ない人数で学習の方がよく分ります」「算数の授業では、自分の力にあった内容や方法、学習の進みぐあいなど選んで学習する方がよくわかります」といった項目のプラス回答数が広島県集計より高くなっています。

この結果からも、少人数での学習が自分の学力をつけるうえで役にたったと感じている児童が多いこと、少人数での学習により算数の授業を好きになり算数への抵抗感がすくなくなってきた児童が多いことなどが伺われます。

以上のことから、今後も4年生時における少人数指導や6年生時における少人数指導を継続し、児童一人一人に確かな学力をつけていきたいと考えています。

今年度から、本校では、算数科を研究教科として取り組んでいます（3年計画）。したがって、算数科における少人数での指導方法のより効果的取組についても研修を深めていき、全学年での取組の参考にしていきたいと思ひます。

今後も本校教育へのご理解ご協力をよろしくお願ひします。

(参考)

広島県・広島市の平均通過率

	広島市平均	広島県平均
国語	81.0	82.3
算数	77.6	79.0

